

3D イメージングによる三角靱帯付着部の形態学に関する研究

1. 研究の対象

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日に解剖学教室が管理する解剖体

2. 研究期間

研究実施許可後～2028 年 3 月 31 日まで

3. 研究目的・方法

三角靱帯損傷は軽微な足部捻挫から、足関節骨折など損傷機転は様々です。三角靱帯損傷は足関節の不安定性を生み、将来的な変形性足関節症の原因となります。三角靱帯損傷の治療として外科的靱帯修復術が選択される場合がありますが、三角靱帯の解剖についての文献は限定的で、議論がなされているところであり、修復術についても確立されたものではありません。本研究は三角靱帯と関連する骨のランドマークを定性的かつ定量的に定義することで、解剖学的修復術の開発に役立つと考えます。

解剖学講座が管理する cadaver training 用献体および学生解剖学実習用献体を用いて、三角靱帯前方束の詳細な肉眼的解剖を行い、三角靱帯起始部および停止部の肉眼像を撮影します。次に三角靱帯前方束の脛骨付着部と距骨および舟状骨付着をそれぞれピンでマーキングした後、CT を撮像し、得られたデータを基に 3D 画像を構築します。三角靱帯の形態学的特徴や骨性指標を明らかにすることが目的です。

4. 研究に用いる試料・情報

試料：ご献体足部

情報：性別、年齢、既往歴、足部の手術歴、身長、体重、BMI

本研究に用いられる試料（ご献体）は研究終了後速やかに丁寧に火葬させていただきます。本研究に用いられる情報（研究対象者情報、個人を識別するための情報、研究記録、手順書など）は、研究終了後 5 年または結果公表日から 3 年のいずれか遅い日まで保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 研究費および利益相反

研究費は整形外科科学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、ご献体およびその情報が当該研究に用いられることについてご家族の方にご了承をいただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合にご家族の方に不利益が生じることはありません。

（住所）〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1 番 1 号

（電話）代表 019-613-7111（内線 整形外科医局 6562）

（所属・氏名）整形外科科学講座 佐々木 悠相

研究責任者：岩手医科大学 整形外科科学講座 助教 及川 龍之介

-----以上